

活動助成（2010年度募集）活動実績報告書

団体名	西宮カウンセリング研究会
活動テーマ	地域社会の安全安心推進のための心と身体のケアに関する活動



西宮市にはH7年の阪神大震災、H17年 JR西日本列車事故などによる被災者が多数おられ現在に至ってもP.T.S.Dに悩む方が大勢いらっしゃいます。かけがいのない人、大切な家や土地を失って生きる意欲さへ無くした方々には単なる「頑張って」と励ますだけではなく、この方々の心に寄り添ってその辛さや悩みを共感し聴いてあげることが何より大切なことです。そして再び生きる目的を掴むまでには長い時間を要します。そのためのカウンセラーのスキルアップと市民啓蒙活動の充実を図るために今年度もテーマに即した学習会並びに公開講座を開催しました。

の学習会は「グリーフケアについて」のテーマで坂口幸弘先生（関西学院大学准教授）に講義して頂きました。通常のグリーフを超えた病的なものに対してどのように対処するか、今までより以上に対応の難しさを実感することのできる講義で25名の参加者で行われました。

は毎年恒例の市民対象の公開講座で「子育てダイエット～子どもの声を聴きましょう～」と題して西宮市民会館で植田都先生（関西外国語大学短期大学部教授）に講演をして頂きました。夫婦の会話（コミュニケーションが取れているかどうか）のロールプレイや自分の思い浮かぶ人に対する良い行動と悪い行動を書くというワークを含めた講演で約50名の参加があり好評の下終了致しました。

の第2回学習会は杉原保史先生（京都大学教授）に「災害後の心のケアについて」というテーマで講義をして頂きました。P.T.S.Dへの心理援助の工夫について阪神大震災や東北地方大震災での実際の活動経験に基づいたお話で大変興味深く各自が考えさせられました。20名の参加者で行われました。